



平成 28 年 7 月 25 日

オリンピック日本人金メダル第 1 号 「織田幹雄」
特別展を開催します

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と全国の大学・短期大学は連携協定を締結し、2020 年の大会に向けて、オリンピック・パラリンピック教育の推進やグローバル人材の育成、各大学の特色を活かした取り組みを進めていくこととなっています。

広島大学では、日本人オリンピック金メダリスト第 1 号の織田幹雄氏の遺品を展示し、先人の偉業を偲ぶとともに、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地方から機運を盛り上げるため、下記のとおりパネル展示を行います。

なお、織田幹雄氏は、広島県海田町の出身で、大正 12 年に広島大学教育学部の前身である広島高等師範学校に入学し、同年の第 6 回極東選手権大会で、走り幅跳びと三段跳びで極東新記録を記録して優勝しました。翌年のパリ五輪の三段跳びでは 6 位入賞を果たし、4 年後のアムステルダム五輪の三段跳びで優勝し日本人初の金メダリストとなっています。

記

期間：2016（平成 28）年 7 月 25 日（月）～30 日（土）

場所：広島大学中央図書館内「地域・国際交流プラザ」

【お問い合わせ先】

広島大学スポーツ科学センター
東川安雄 教授
TEL:082-424-7153



1928 アムステルダムオリンピック大会 金メダルと賞状



日本人オリンピック金メダリスト第 1 号織田幹雄氏は、広島県海田町の出身である。その織田幹雄氏は、大正 12 年広島大学教育学部の前身である**広島高等師範学校**に入学し、その年にあった第 6 回極東選手権大会では走り幅跳びと三段跳びに極東新記録を樹立して優勝した。翌年のパリ五輪の三段跳びに 6 位入賞を果たし、4 年後の**アムステルダム五輪の三段跳び**で日本人初の**金メダリスト**となった。このように、織田幹雄氏にとって広島高師時代は、次へのステップの充電期であったといえる。この織田幹雄氏の遺品が地元海田町に保管されており、それらをゆかりの広島大学で展示し、先人の偉業を偲ぶとともに、2020 東京オリンピックにむけて地方から機運を盛り上げるためにパネルで展示しています。

2016(平成 28 年) **7 月 25 日**(月)~**30 日**(土)
 時間: 図書館開館時間と同じ、但し最終日は 17 時まで
 場所: 広島大学図書館『地域・国際交流プラザ』

広島大学スポーツ科学センター
 連絡先 東川安雄(082-424-7153)

オリンピック日本人金メダル第 1 号
 「織田幹雄」特別展



入場無料

